

5つの将来目標を実現する上で重要な指標

1. 住みやすい快適環境都市をつくる（環境・安全）

社会の成熟化、地球環境保全などの観点から、自然と共生し、住みやすく便利な快適環境都市をめざす

No.	指標の内容	基準年度実績値 (16年度)	20年度 実績値	21年度 実績値	目標・予測値 (22年度)	担当課
1	資源ごみのリサイクル回収率（排出されるごみのリサイクルを推進）	18.3%	18.1%	17.5%	19.3%	環境課
2	自治会の自主防災組織の組織率	50.0%	66.9%	71.1%	90.0%	防災安全課
3	さつきバスの年間利用者数	89,171人	82,360人	75,239人	89,171人	総合政策課

2. 魅力ある生活文化都市をつくる（教育・文化）

幼児から高齢者までの、生涯教育と文化・スポーツの振興により、元気で文化性の高い市民づくりによる魅力ある生活文化都市をめざす

No.	指標の内容	基準年度実績値 (16年度)	20年度 実績値	21年度 実績値	目標・予測値 (22年度)	担当課
4	児童・生徒の学習内容の理解度（小6、中2の学習調査通過率が県の平均を上回っている学習項目の割合）	50.7%	42.0%	68.4%	65.0%	学校教育課
5	各種公民館講座の参加者数	97,990人	125,949人	114,301人	101,620人	生涯学習課
6	文化創造センターの利用者数	230,450人	268,164人	273,331人	250,000人	文化振興課
7	地域の活動に参加した児童・生徒の割合（「学校生活充実調査」の結果より）	53.5%	60.6%	64.5%	70.0%	学校教育課

3. みんなで支える健康福祉都市をつくる（健康・福祉）

市民の健康の保持・増進を図り、少子・高齢化に対応して、市民が生きがいを持てるよう、市民一人ひとりが思いやりの心を養うとともに、高齢者・障がい者が健常者と同じように生活できる環境整備と、それを支える市民活動を支援していくことにより、住み慣れた地域で安心して暮らせるような地域福祉社会の形成を図る

No.	指標の内容	基準年度実績値 (16年度)	20年度 実績値	21年度 実績値	目標・予測値 (22年度)	担当課
8	ボランティアセンターの年間派遣件数	499件	337件	399件	540件	福祉課
9	ファミリーサポート活動件数	558件	420件	1,037件	700件	こども課
10	65歳以上に占める要支援・要介護者の割合	12.9%	13.5%	13.4%	16.6%	いきいき長寿課

4. 豊かな活力創造都市をつくる（都市基盤・産業）

市民の雇用の確保、地域の経済的自立のため、都市基盤のいっそうの整備充実や産業を育成し、豊かな活力創造都市をめざす

No.	指標の内容	基準年度実績値 (16年度)	20年度 実績値	21年度 実績値	目標・予測値 (22年度)	担当課
11	米の自給率 〔(農振農用地面積 ha × 4800kg) / (59kg × 人口) × 100〕	56.3%	50.7%	50.9%	49.6%	農林課
12	市道の改良率	76.9%	77.8%	78.0%	78.0%	土木課
13	上水道の普及率	99.1%	99.1%	99.1%	99.5%	水道課
14	下水道の整備率	62.2%	77.5%	77.8%	88.2%	下水道課

5. 共に育むふれあい交流都市をつくる（行政運営）

あたたかい人間関係に支えられた地域社会が築けるよう、共に育むふれあい交流都市をつくる

No.	指標の内容	基準年度実績値 (16年度)	20年度 実績値	21年度 実績値	目標・予測値 (22年度)	担当課
15	自治会の加入率	69.2%	64.1%	64.7%	基準年度を上回る (毎年度)	まちづくり推進課
16	市の審議会・委員会への女性参加率	26.9%	27.8%	29.3%	35.0%	総合政策課
17	市職員1人あたりの市民数	190人	204人	202人	198人	秘書課
18	市税の収納率（現年）	97.7%	97.9%	97.5%	98.5%	収納課

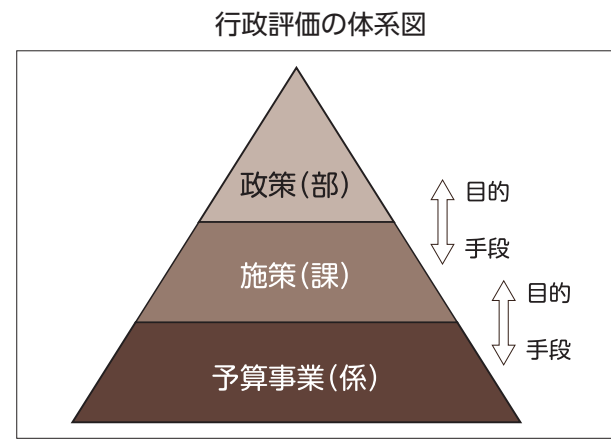
※指標は主なものを掲載しています。
詳しくは市ホームページや総合政策課、まちづくり推進課をご覧ください。

問合せ 総合政策課

市の業務を点検 行政評価の結果をお知らせします

市は、平成21年度に行った市の業務についての、行政評価を実施しました。
今号では、その結果の一部をお知らせします。

行政評価は市の業務を、政策（部）・施策（課）・予算事業（係）の三段階に分けて行いました。
それぞれが目的と手段の関係にあり、目的の達成には何をすべきか、そのための具体的な改善をどうすればよいのかを自ら見つけ出す自己評価を中心に実施しています。



政策評価

政策評価は、総合計画の5つの将来目標（政策）について、進捗や達成状況と、政策を実現する上で重要な指標（次ページの表）により構成されています。
これらの状況から今後の方針を導き出し、事業を行っていきます。

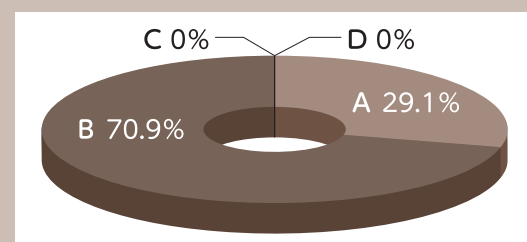
施策評価

5つの将来目標を実現するために、86の施策について組織別に施策評価を行いました。
施策の70.9%は、現状のままではなく何らかの改革改善が必要だと判断しています。

予算事業評価

予算事業評価では、決算の結果をもとに、コストや指標などを分析しながら、事業の貢献度・必要性・効率性・達成状況を見て今後の方針について検討

施策の総合判定結果（構成比）



A: 順調に推移しており、このまま維持する
B: ほぼ順調に推移しているが、改善の余地がある
C: 一部不調であるため、方針の見直しや改革改善が必要である
D: 順調に推移しておらず、大幅な方向転換が必要である

討を行います。そして、行政改革の視点から課題を把握し、今後の改善点を見つけていきます。

これからの行政

市は今後も、行政運営の中で行政評価制度を効果的かつ積極的に活用し、

さらなる市民サービスの向上を図っていきます。

閲覧することが出来ます。

市ホームページ（トップページ）→ 行政・施策 ↓ 行政運営 ↓ 行政評価（や、総合政策課、まちづくり推進課で政策・施策評価の結果を公開しています）。

皆さんのご意見をお聞かせください。

〔指標の使い方〕

- 1 行政評価では、5つの将来目標がどの程度実現できたかを定量的に把握する「ものごと」として多くの指標を設定しています。
- 2 政策で行っていることすべてを指標だけで表すことはできません。これらの指標は評価そのものだけでなく、状況を把握するための参考データとして活用されています。
- 3 数値が上がっているから良い、下がっているから悪いという見方は必ずしも正しいではありません。数値を維持していかなければならないものや、数値の下げ幅を抑えていかなければならないものなどもあります。
- 4 指標の中には、目標値の設定が困難なものがあります。その場合は予測値として設定しています。
- 5 次のページの指標は、86の施策評価の中から生活に密着するものや、分かりやすいものを選び掲載しています。